

River Diary

H25

7/2、9、22 水生生物調査を実施

国土交通省との共催により、恒例の吉野川水生生物調査を穴吹新橋、学島橋、美馬橋下流で実施。水生昆虫の生息状況を調べ、吉野川の水質の簡易評価を行いました。カワゲラやヒラタカゲロウなど、「きれいな水」に棲む水生生物がたくさん確認できました。

7/7 吉野川一斉清掃

「美しい吉野川をみんなの手で」を合言葉に、7月7日、恒例の吉野川一斉清掃を開催。あいにくの曇り空でしたが、地域住民134団体・約5354人が参加し、上流～下流までの清掃に汗を流しました。たくさんのご参加、ありがとうございました。

7/21 おさかな博士の川魚かんさつ



交流体験inよしのがわ(下流編)は佐藤陽一さん(県立博物館学芸員)を講師に、鮎喰川で川魚観察会。県内の小学生親子38名が魚の観察や川遊びを通じて川に親しみました。あわせて、福山平成大学の小谷寛二

教授の指導のもと、水難事故防止について学びました。

7/26～28 吉野川フェスティバルでPR

吉野川フェスティバルにブースを出展。三大河川の写真パネル展示やてまわしてま de アートなどを楽しんでもらいました。また、機関誌を配布し活動をPRしました。



8/4 吉野川上流体験

交流体験inよしのがわ(上流編)は、小学生親子28名が参加。四国の水がめ・早明浦ダムを見学し、ダムの役割や上流地域の取り組みを学びました。あわせて、福山平成大学の小谷寛二教授のもと、水難事故防止について学びました。

8/18 吉野川でカヌーに乗ってみよう



交流体験inよしのがわ(中流編)として四国三郎の郷周辺でカヌー教室と水難事故防止実習を行いました。小学生の親子34名はカヌー体験に夢中!! 吉野川のよさを実感しました。

10/4・5 水源地域での下草刈り体験ツアー

吉野川源流地域の森林の保全・育成の取り組みとして、さめうら水源の森ネットワーク主催で、下草刈り体験ツアーを開催。「3001年の森」や大川村役場対岸で下草刈りを行ったり、夜は白滝の里で上下流の交流会を行いました。

ようこそ、兄弟！ 交流を重ね
三河川の結びつきをより深く



日本三大河川である利根川・筑後川・吉野川が兄弟縁組をしたのは、2012年9月30日——台風接近で吉野川が暴れん坊になっていたことが思い出されます。7月27日、開催中の吉野川フェスティバルに合わせて、三大河川が集結しました。再会を笑顔で果たした「坂東太郎」「筑紫次郎」「四国三郎」の関係者約40名は、ステージに上がり、それぞれの河川のすばらしさや流域での活動をPR！ 題して「三大河川のお国自慢対決」です。「利根川下流域の千葉県は平均標高が日本一低い」「筑後川の源流は阿蘇山」と兄さんたちが自慢すれば、末っ子・三郎は殿様連の阿波おどりで「おもてなしの心」を表現。華麗な踊りに会場は大盛り上がり！ 河川敷でのビアガーデン&バーベキューで親睦を深めたの言うまでもありません。



交流会のフィナーレは阿波おどり



だるまの効力は1年。だるまの産地・群馬で新しいだるまに目入れを行いました

10月16日・17日には「第27回筑後川フェスティバル in 南小国(熊本県)」に吉野川チーム23名が参加し、三大河川協議や筑後川の源流地域を訪れるなどして交流を深めました。また、11月8日・9日には利根川を訪問。「利根川に学ぶ渡良瀬大会 in 群馬県板倉町」に17名が参加。「活力ある水辺と流域の振興」をテーマにパネルディスカッションを行ったり、利根大堰などの見学、懇親会と有意義な2日間となりました。

筑後川の源流にて





Kitaoka Group
株式会社 北岡組

本社	徳島県美馬市美馬町字妙見67番地2 電話(0883)63-3155
徳島本店	徳島市中洲町1丁目40番地 電話(088)652-3155
高松営業所	香川県高松市扇町2丁目10番16号 電話(087)823-3282
東京営業所	東京都江東区永代2丁目31-14-1001 電話(03)5809-8311